

アルドース還元酵素阻害剤

処方箋医薬品*

日本薬局方 エパルレストアット錠

エパルレストアット錠50mg「サワイ」

EPALRESTAT

日本標準商品分類番号

873999

承認番号	22300AMX01225000
薬価収載	2012年12月
販売開始	2005年7月

貯法：室温保存
使用期限：外箱に表示

*注意—医師等の処方箋により使用すること

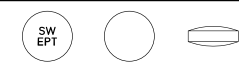
【組成・性状】

**・組成

エパルレストアット錠50mg「サワイ」は、1錠中に日局エパルレストアット50mgを含有する。

添加物として、カルナウバロウ、カルメロースCa、コポリビドン、酸化チタン、ステアリン酸Mg、タルク、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール6000、D-マンニトールを含有する。

・製剤の性状

剤形	外形 直径(mm)・重量(mg)・厚さ(mm)	性状
フィルムコーティング錠	 6.7 約120 3.8 [識別コード：SW EPT]	白色

【効能・効果】

糖尿病性末梢神経障害に伴う自覚症状(しびれ感、疼痛)、振動覚異常、心拍変動異常の改善
(糖化ヘモグロビンが高値を示す場合)

【用法・用量】

通常、成人にはエパルレストアットとして1回50mgを1日3回毎食前に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法、経口血糖降下剤、インスリン等の治療を行った上でなお、糖化ヘモグロビンが高値を示す患者に対して適用を考慮する。
- 本剤の投与の対象となる患者の糖化ヘモグロビンは、HbA1c(NGSP値)7.0%以上(JDS値6.6%以上)を目安とする。
- 不可逆的な器質の変化を伴う糖尿病性末梢神経障害の患者では効果が確立されていない。
- 投与中は経過を十分に観察し、12週間投与して効果が認められない場合には他の適切な治療に切り換えること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

1) 重大な副作用(頻度不明)

- 血小板減少：血小板減少があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。
- 劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全：劇症肝炎、著しいAST(GOT)・ALT(GPT)の上昇等を伴う肝機能障害、黄疸、肝不全があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。

2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹、掻痒、紅斑、水疱等

	頻度不明
肝臓	AST(GOT)・ALT(GPT)・γ-GTPの上昇、ビリルビン上昇等
消化器	腹痛、嘔気、嘔吐、下痢、食欲不振、腹部膨満感、便秘、胸やけ
腎臓	BUN上昇、クレアチニン上昇、尿量減少、頻尿
血液	貧血、白血球減少
その他	倦怠感、めまい、頭痛、こわばり、脱力感、四肢疼痛、胸部不快感、動悸、浮腫、ほてり、しびれ、脱毛、紫斑、CK(CPK)上昇、発熱

注)発現した場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕
- 本剤投与中は授乳を避けさせること。(動物実験(ラット)で乳汁中へ移行することが報告されている。)

4. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない。

5. 臨床検査結果に及ぼす影響

本剤の投与により尿は黄褐色又は赤色を呈するため、ビリルビン及びケトン体の尿定性試験に影響することがある。

6. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている)

7. その他の注意

本剤の投与により、黄褐色又は赤色の着色尿があらわれることがある。〔本剤及び代謝物の影響による。〕

【薬物動態】

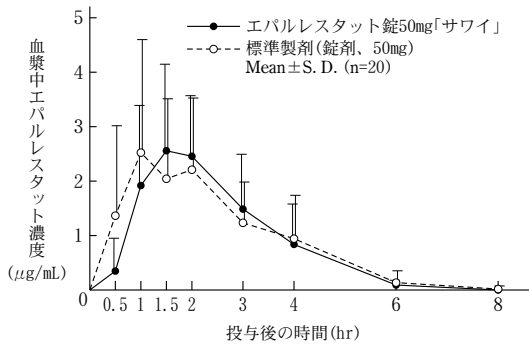
1. 生物学的同等性試験

エパルレストアット錠50mg「サワイ」と標準製剤を健康成人男子にそれぞれ1錠(エパルレストアットとして50mg)空腹時単回経口投与(クロスオーバー法)し、血漿中エパルレストアット濃度を測定した。得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について統計解析を行った結果、両剤の生物学的同等性が確認された。¹⁾

各製剤1錠投与時の薬物動態パラメータ

	Cmax ($\mu\text{g/mL}$)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)	AUC _{0-8hr} ($\mu\text{g}\cdot\text{hr/mL}$)
エパルレストアット錠50mg「サワイ」	3.70±0.97	1.9±0.8	0.8±0.2	7.18±1.38
標準製剤(錠剤、50mg)	3.63±1.50	2.1±1.1	0.8±0.2	7.56±2.08

(Mean±S. D.)



血漿中濃度ならびにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

2. 溶出挙動

本製剤は、日本薬局方に定められた溶出規格に適合していることが確認されている。

【薬効薬理】

1. エパルレスタットは、細胞機能障害を誘発すると考えられているソルビトールの細胞内蓄積を抑制することにより、糖尿病性末梢神経障害における自覚症状および神経機能異常を改善する。
2. 作用機序は、ポリオール代謝系においてグルコースからソルビトールへの代謝に関与するアルドース還元酵素を特異的に阻害することによる。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：エパルレスタット (Epalrestat)

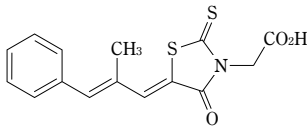
化学名：2-[(5Z)-5-[(2E)-2-Methyl-3-phenylprop-2-en-1-ylidene]-4-oxo-2-thioxothiazolidin-3-yl] acetic acid

分子式：C₁₅H₁₃NO₂S₂

分子量：319.40

融点：222~227°C

構造式：



性状：エパルレスタットは黄色～橙色の結晶又は結晶性の粉末である。N,N-ジメチルホルムアミドにやや溶けやすく、メタノール又はエタノール(99.5)に溶けにくく、水にほとんど溶けない。光により徐々に退色し、分解する。

【取扱い上の注意】

・安定性試験

PTP包装したものをを用いた長期保存試験(室温、3年間)の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。²⁾

*【包装】

PTP：100錠(10錠×10)、500錠(10錠×50)

【主要文献及び文献請求先】

・主要文献

- 1) 陶易王他, 診療と新薬, 42(6), 622(2005).
- 2) 沢井製薬(株)社内資料[安定性試験]

**・文献請求先〔主要文献(社内資料を含む)は下記にご請求下さい〕

沢井製薬株式会社 医薬品情報センター
〒532-0003 大阪市淀川区宮原5丁目2-30
TEL：0120-381-999 FAX：06-7708-8966

製造販売元

沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30

D10 A220810